

[仕事の便利術] 上手な問題・課題の探し方

●受講期間 2ヵ月

●受講料 11,000円

マルチデバイス対応

■テキスト1冊 (Webテキストも閲覧可) ■添削レポート2回 (Web提出可)

※ テキストはインターネットで閲覧できます。Web提出には「Microsoft Word」が必要です。

問題解決から問題発見へ — これまでの延長線では見えてこない問題を「見える化」し、本当に達成すべき課題を絞り込むことができる

既存の問題の深掘り(深化)と新たな課題の発掘(探索)に現場レベルでどう取り組むか、未達・逸脱の問題だけでなく、気になる兆候や向上したい課題を具体化

一人ひとりの価値観、人生観、哲学が未来を構想し、問題を見出すことにつながることの意義を認識でき、問題解決の本質に迫ることができる



●第1単元

何が問題なのかがわかりにくい時代の問題発見

- ・上手くいっていること、上手くいっていないこと
- ・スケールメリットはなく独自の価値観で考える
- ・自分自身で意味を見出す — ビジョンマーケティング
- ・前提を疑う — ゼロベースで思考する
- ・効率性、有用性の落とし穴に注意
- ・本質を見極める — 深い仮説があるから答えを出せる
- ・正しいこと(論理)よりもやりたいこと(感情)に従う
- ・偶然を味方にする(セレンディップ)
- ・失敗から学ぶ「レモネードの原則」
- ・ダイナミック・ケイパビリティ(変化を生き抜く力)

…他

●第2単元

現場で活かす問題・課題の探し方のポイント

- ・意味を創り出す — センセーキング理論とは
- ・世界中の人とつながる — ネットワークの力を活用する
- ・AIに奪われる仕事、残る仕事(シンギュラリティは起こるか)
- ・ヒトは「モノ」から「コト」に価値を見出す
- ・環境変化を察知するアンテナを張る(マクロ環境の変化)
- ・何がおいしいのか、何が変わってしまったのか問題意識を持つ
- ・ありがたい姿から目標を定める(理想状態を考える)
- ・問題を構造化し、ギャップを把握すると見えてくる
- ・過剰な情報を整理して捨てるものを決める
- ・ワクワクすることにフォーカスしよう(リニア思考からの脱却)

…他

オンラインでもオフラインでも学習できる！(すべての学習方法に対応)

※カリキュラム・講座内容などは改訂や変更になる場合があります。

